

学校だより

埼玉県立久喜特別支援学校 【No.8】

ホームページ <http://www.kuki-sh.spec.ed.jp/>

平成30年12月3日（月）発行



教頭 赤間 茂

例年より冬の到来が早い今年ですが、暦も12月になり一層寒さが厳しくなってきます。今学期もあと一月、健康に留意し元気に登校して欲しいですね。

さて、「いちようまつり」では、一般来場者 148 名をはじめ、保護者の皆様や卒業生、作業所の方々を含め 400 名を超える方々にご来場いただきました。皆様には、児童生徒の元気な活動の様子をご覧いただけたことと思います。日々の学習や宿泊学習、社会体験学習や交流会などの校外行事をとおして着実に成長した姿があったのではないのでしょうか。児童生徒は、このいちようまつりをとおして、さらに逞しくなっていると感じています。この1年を振り返り、お子様ができるようになったことや成長したことをこれからの日々の生活に生かして、次のステップに繋げていって欲しいと思います。お子様のことで分からないことや不安なことがありましたら、学校と家庭が手を携えて支援を進めるためにも、是非担任に相談をしていただきたいと思います。

今学期も保護者の皆様には、日々の教育活動や行事の実施のあたり、御理解と御協力をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、3学期も引き続きよろしく願いいたします。

小学部

小学部5年生は、設定あそびの時間に『相撲あそび』に取り組みました。紙相撲の活動では、段ボールで作られた土俵の端を、両手の平でドンドンと夢中で叩く子どもたちの姿がみられました。回数を重ねると、上手に両手で叩くことができるようになったり、よく手元や倒す的に注目して取り組むことができたりしました。また、順番を座って待つ児童も、お友だちの活動を良く見て、「がんばれー！」や「〇〇の勝利ー！」という歓声も聞こえてきます。ドンケツ相撲は、フラフープの中に背合わせで立ち、枠の外に相手を押したす活動です。「ドンケツ〜♪」の掛け声と共に、お尻を突き出し、枠の外にはみ出さないようにしている必死な姿が見どころです。



各学部より

中学部

いちようまつりでは、中学部合同で「シン・ピーターパン」のステージ発表を行いました。

1年生は人魚隊とネバーランド人、2年生は海賊の役を担当しました。太鼓やダンス、大縄やバルーンを披露しました。“仲間と一緒に楽しく”をモットーに、息の揃った発表を見せてくれました。

3年生は一人ひとり、ピーターパンやティンカーベル等の役を担当しました。それぞれの役になりきってたくさんの練習を重ね、上級生らしく迫力ある演技を披露してくれました。

最後は全員で「小さな世界」の合唱を披露し、中学部一丸となって取り組んだ「シン・ピーターパン」を締めくくることができました。生徒たちの達成感に満ちた表情が大成功の証です。お疲れ様でした！



就学・転学に係る相談会についてのお知らせ

12月6日（木）の午後、平成31年度4月に外部から本校の小・中学部に入学・転学する予定の児童生徒・保護者を対象に就学（転学）相談を行います。本校から中学部に進学する児童は対象ではありません。

当日、本校の児童生徒は11：30下校です。ご理解、ご協力をお願いいたします。